

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「鳩ヶ谷を面白くする会」

埼玉高速鉄道の開通(平成13年3月28日)をきっかけに、行政に頼らずに自分たちのまちを自分たちの手で活性化させたいと平成13年5月に設立し、鳩ヶ谷駅に併設した市民センターで年4回「鳩ヶ谷寄席」を開催。落語家による口コミ宣伝の効果も含め、東京や神奈川からも落語ファンが来場するまでに育てた経験をほかのイベントにも活かし、手づくりのまちづくりに取り組むみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさん新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変にお世話になりました。

今年も市長のふれあい訪問を、どうぞよろしく願います。さて、平成25年、最初の市長のふれあい訪問は「鳩ヶ谷を面白くする会」のみなさんです。よろしく願います。まず会の名前が「鳩ヶ谷を面白くする会」というなかなか面白い、いい名前ですが、いつどのようなきっかけで作られたのですか。

富田 会の発足以前から、上田さんと2人で地域情報誌の発行をしていました。平成13年の地下鉄開通で、街が変わるのではと期待しましたが、そうはなりませんでした。そのとき、行政だけに頼っているのはダメだと感じ、自ら行動して街を元気にしようと思ひ、まずは自分たちができることからやってみようと思ひ立ち上げました。

市長 いろんなことから始めたのですか。
上田 駅併設の市民センターが

当時はあまり利用されていませんでした。そこで、なにかできることはないかと考え、落語家の柳家小せんさんに協力してもらい鳩ヶ谷寄席を開催しました。**市長** 2人でこの会を立ち上げたとは、感心しました。ほかのメンバーも最初からお手伝いされたのですか。

神崎 はい。2人が楽しい企画をするので最初からお手伝いさせていただいています。

牧之田 お手伝いというより、自分自身がすごく楽しませていただいています。

市長 “自分たちに何ができるか”を考える市民が増えるといいなあと思ひます。行政に頼らず頑張る姿勢がともうれいすね。落語家を呼ぶにはいろんなご苦労があったんじゃないですか。

富田 金銭面や芸人さんのつて



もありませんでした。知り合いだった柳家小せんさんに寄席の企画をやりたいと相談したら、幸いにも芸人のことは「協力するよ」と言っていただけでした。私たちだけではできなかったと思います。

市長 年に何回開催しているのですか。
上田 年4回開催しています。
市長 手描きの寄席のポスターは、みんなとても人気があるそうですね。

上田 すべて手作りで、欲しいという人もいます。

市長 寄席の人集めのご苦労はありませんか。

牧之田 新聞販売店さんが協力してくださるし楽しい企画なので、初めから人気がありました。

市長 それはいいですね。観客とステージの距離が近いから人気があるのですね。ところで昨年、合併1周年を記念して開催した「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」はいかがでしたか。

神崎 警備のお手伝いをしましたが、あんなに人が出たのは初めてです。

富田 今度のお祭りでは、財力だけじゃなくて、人の力というか、合併したからこそできるというのを感じましたね。

市長 やはり皆さんの「祭りを盛り上げよう」という気持ちなんです。それではお正月でするので、みなさんから今年の抱負をお願いします。

富田 合併して川口のかたに鳩



ヶ谷だけじゃなくて川口も面白くしてよって、言われてすごくうれしかったので、この笑いの輪をもっと広めていきたいと考えています。

上田 合併を機に、輪を広げて川口を面白くしていきたいです。

楽しいことなら何でも首を突っ込んで、参加したいと思ひます。

神崎 みなさんを楽しませ、自分も楽しくなるという信念で頑張りたいと思ひます。

牧之田 イベントに参加できる楽しみがあれば、外に出る機会が増えると思ひます。同世代の方に元気で過ごしてもらえようと思ひます。

市長 「鳩ヶ谷を面白くする会」を「川口を面白くする会」にしたいと思ひます。今年も一年頑張ってください。今日はどうもありがとうございました。

29 広報かわぐち 2013.1